

新春日部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

「住みたい」魅力的な街へ 市民パワーを市政に生かせ

並木としえ議員
一般質問



9月14日、並木としえ議員は①住民が主人公―活気と魅力ある春日部へ、市民参加・市民協働の仕組み作りを②ベネッセスコア型テスト「GTEC」について の2点について一般質問しました。

子ども議会
子どもの意見反映を

春日部は選挙の投票率は県や全国の平均より低く、パブリックコメント(市民意見提出手続き)は市民意見が少なだけでなく、市民意見の施策への反映が極端に低い状況です。市民が「住みたい」と思える街にするために、市民パワーを市政に生かす、市民参加・市民協働の仕組みづくりとして①子ども議会・少年議会などの取り組み②市が作る計画をコンサルに丸投げせず市民要望を審議会などで練り上げる③市民活動センターの指定管理者制度をやめ市民と行政の協働を進めるセンター

として市が直接運営すべき、と提案しました。

こども未来部長は「令和7年3月に策定予定の『こども計画』において、こども議会も含め子どもの意見を尊重し施策に反映させる方法を検討していく」と答弁しました。

岩谷市長は「市民活動センターに指定管理者制度を導入したことで利用者数、イベント数が増加し、効果が表れている。今後も指定管理者と連携を図りながら市民参加・協働を進めたい」と述べました。

「GTEC」は 点数競争を加速

今年度、中学2年生全員に受験産業ベネッセのスコア型テスト「GTEC」が実施されることになり、10月の実施を目前に学校現場は対応に混乱しているということです。

「GTEC」の内容、導入の必要性、効果などについて

質しました。

全国一斉学力テストの結果から春日部の中学生は英語の学力に課題があり、教員も授業力の向上に悩んでいることから、事前研修、テストによる学力の把握と個々の課題の提示、授業で生かす工夫、事後研修がパッケージになった「GTEC」の導入を決めた。県内ではさいたま市や川口市で導入されて、さいたま市は学力テストで全国の政令市の中でトップになっているという答弁がありました。

「学校は学ぶ喜びを知り、豊かな学力を身につけるところ。学力テストは「学力の一部分」であり、その結果だけで学力を図るべきではない。新たなテストで自治体間・学校間の点数競争を加速するのではなく、子どもと向き合い、丁寧な学習指導や教材研究を保障することが教育行政の仕事」と指摘しました。

〈生活相談は日本共産党へ〉

並木としえTEL737-4576 大野とし子TEL746-6136 今尾やすのりTEL761-3676 木下みえ子TEL734-4677

日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-ka.s.ukabe.jp/>



木下みえ子議員一般質問



市民のニーズに寄り添った春バスを 学校・公共施設のトイレの個室に生理用品を

て策定される予定です。

再編のポイントは課題だった利用者数の少ない路線区間を見直し、運行の所要時間を短縮、便数を増加させ、コンパクトシティ形成のため鉄道駅を結ぶルートを設定しました。利用者数の少なかった庄和地域の一部・赤沼・不動院野・内牧の各ルートが廃止されます。

9月14日、木下みえ子議員は①市民の多様なニーズに寄り添った第4次春バス運行計画策定を②学校・公共施設のトイレの個室に無料の生理用品を、の二点について一般質問をおこないました。

第4次春バス運行計画 策定は市民参加で

今回の第4次春バス運行計画案は19日に市民意見募集が終了し、26日の地域公共交通活性化協議会におい

て策定されました。木下議員は、令和6年1月から庄和地域で行われる75歳以上の高齢者と妊産婦へのタクシー代補助制度の実証実験について、市内全域で行われない理由について質問しました。

都市整備部長は、全市で行うには既存の公共交通への影響が懸念されることから今回の結果を踏まえ施策

の検討を行いたい、と答弁しました。

また木下議員はアンケート回答の三千人のうち回答率は35・4%。春バスをよく利用している人はその内の1%であり地域のニーズを拾い上げるにはサンプル数が少ない、施策を決定するにあたって主役は市民であり過程においても市民参加が必要と求めました。

都市整備部長は、協議会には学識経験者や市内の各種団体の代表、公募による市民2名も参加し、住民の立場からの意見もいただいている。現在おこなっている市民意見を参考に計画の策定をおこなっていききたい、と答弁しました。

公共施設のトイレの個室に 生理用品設置を

内閣府調査によると県内

の7割弱の自治体が「生理の貧困」に対応しています。

市内の小中学校等の一部では教室と保健室が遠いことから今年度からトイレの個室に生理用品を設置する取り組みが始まっています。

木下議員は、女性や子どもへの尊厳と健康を守り、社会生活で一割もの時間を割かれる生理における不平等を少しでも軽くしてほしいという当事者の声に心えて、全ての公共施設のトイレの個室に生理用品を設置することを求めました。

市長は、安全で衛生的に生理を迎えられる環境の確保は女性の基本的人権として尊重されるべきものと認識しており、生理用品配布については、現状を維持しつつ、場所・形態について現場の意見も参考に、十分に見極めたい、と答弁しました。

市立医療センター Tel735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

9/24(日) ・山本内科医院(内科系) 牛島956-1Tel-755-7500・ゆりのき医院(小児科系)谷原1-16-20
Tel-752-3535・松浦婦人科専門クリニック(外科系)一ノ割1-5-1Tel735-7851

10/1(日)・春日部厚生クリニック(内科系)下蛭田125-1Tel754-4313

・春日部在宅診療所ガル社(小児科系)内牧3701-1Eサ-ス春日部1階Tel792-0772

・かすかべ整形外科・内科ほまれクリニック(外科系)八丁目87-1Tel760-2551